

宣制一段、群臣再拜、又一段、群臣拜舞、

或共再拜

次宣命使本列にふくす

次諸卿退、上膳より、

此後勅授人劍をとく

新主儀、今度劍璽渡御なし、

大臣以下諸卿参入

昇殿以前便宜所に徘徊

新主晝御座参入

攝政、御前圓座に候す、○略節

〔寛永記乙〕御讓位散狀

御讓位○明御殿御裝束、予○二條出指圖、故無子細、陣之庭案疊之數、前代未聞不見事也、又今度内

辨失事、召宣命使時はたゞ失念、父前關白信尋被付心、其御時笏被鳴板、此儀式被出檜扇鳴笏說有之、予用ニハ以笏鳴板敷、宜說様ニ覺也、又物召時、座下方を顧らるゝ也、これ雨儀之例也、今度晴如何、可顧座上也、子細ハ、座上なれば階の方へ向テ次將に召之、次將應之心也、尋常節會にも雨儀時ハ次將日月かひて召也、又内侍臨西欄時、今度初禮に東方より内侍出、是めづらしき事也、不知所意也、又内辨列に加はる時、大納言の上に着、是めづらしき事也、大臣大納言は列別也、然ば大納言の前に列べき事也、

劍璽渡御行列

左衛門陣